

水害ハザードマップと一緒に確認！ 大規模風水害への備え

災害発生時に慌てないために、以下の順番に沿って対策を事前に確認しておきましょう。各項目には、「墨田区水害ハザードマップ」上の掲載ページを記載しています。併せてご確認ください。
【問合せ】防災課防災係 ☎5608-6206



「墨田区水害ハザードマップ」をご用意ください！

「墨田区水害ハザードマップ」は浸水の範囲や深さ、継続時間等の情報を掲載しています。水害の種類(洪水、高潮、雨水出水)に応じて、自宅周辺の浸水情報等を必ずご確認ください。

お手元にマップがない場合は…

防災課(区役所5階)、各出張所で配布しているほか、区HPでも閲覧できます。



冊子版
水害ハザードマップ



ウェブ版
水害ハザードマップ



私たちも
日頃からマップを
確認しています！

区内在住の
マップ利用者

自宅の浸水リスクや災害時の行動について、定期的に家族と確認しています。大規模風水害が起きたときは、浸水エリア外の親戚の家に避難することになっています。子どもがいるため、いざというときは慌



てずに、素早く行動できるようにしておきたいので、マップを参考に事前対策をしています。

インタビュー

自宅の水害リスクを確認[P.12～P.17]

①

避難の基本方針を決める[P.18・19]

②

情報収集の手段を確認[P.24・25]

③

災害発生時を想定したタイムラインを確認

④

ここに
注目

- 浸水はどれくらい継続するか？
- 自宅が浸水するおそれがあるか？
- どの程度の深さまで浸水するか？
(それが自宅の何階相当なのかも確認！)

風水害発生時の避難行動を確認！

まずは **縁故避難**

江東5区外の浸水しない地域の親戚・友人宅、ホテル、勤務先等へ避難

無理なら **在宅避難**

自宅が安全で食料等の備えが十分にある場合、自宅内の高いところにとどまる

無理なら **区内縁故避難**

区内の浸水しない地域へ避難

無理なら **水害時避難場所へ！**

区が開設する水害時避難場所へ避難

ここに
注目

防災行政無線

無線内容は、**防災行政無線電話応答サービス☎5608-6274**(無線放送終了後2時間以内)や、**区HP**等で確認できます。

区HP・公式SNS(区危機管理X等)

最新情報を随時発信します。

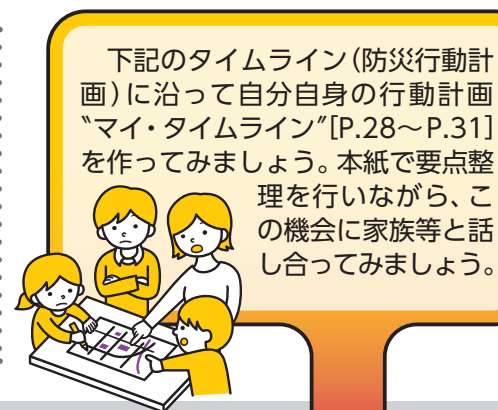


区HP



区危機管理X
(旧ツイッター)

このほかの手段も
事前に確認！



下記のタイムライン(防災行動計画)に沿って自分自身の行動計画“マイ・タイムライン”[P.28～P.31]を作ってみましょう。本紙で要点整理を行いながら、この機会に家族等と話し合ってみましょう。

タイムライン(防災行動計画)を参考に“マイ・タイムライン”[P.28～P.31]を作ってみよう！

● 台風の状況により、以下のタイムライン(防災行動計画)と実際の流れは異なる場合があります。

台風接近までの想定時間		3日前	3日～1日前	1日前	直前	台風最接近
A 1面の 回答は ココ！ 荒川が氾濫する おそれがある場合	江東5区が共同で対応を検討 検討の開始を区HP等でお知らせ ☒ すぐに避難できるよう、 広域避難の準備を開始 → 広域避難は 江東5区外の浸水しない地域 へ 避難することです。 事前に、 縁故避難(上記参照) ができるか確認！ 「自主的広域避難情報」が 発表されなかった場合は下表へ	自主的広域避難情報 が発表されたら… ☒ できるだけ早く江東5区外の安全な場所 へ避難 避難手段 徒歩 公共交通機関 車 車は渋滞に注意！		広域避難指示 (公共交通機関の計画運休前に発令予定) が発令されたら… ☒ 直ちに江東5区外の安全な場所へ避難 避難手段 徒歩 公共交通機関 公共交通機関は 計画運休に注意！ ※車での避難は、原則、要配慮者とその付添いの方のみ		ここまで に広域 避難
	「自主的広域避難情報」の発表に備えて、 もしものときは、江東5区外の浸水しないエリア (無理な場合は 区外・自宅)の に避難する (例) ○○県の親戚の家、○○区の祖母宅 等	避難手段は、 徒歩・公共交通機関()・車 その他() 一緒に行動する(連れていく)人は、 		もしも公共交通機関が使えなかった場合は、 (例) 自宅から徒歩圏内で浸水エリア外の○○○に、歩いて 避難する 等		

台風接近までの想定時間		1日～半日前	半日～数時間前	台風最接近
B 荒風や大雨が想定される場合	台風や大雨の前に限らず、日頃から備えておきましょう。 ☒ 水害ハザードマップ で自宅の浸水時の水位を再確認[P.12～P.17] ☒ 情報の入手方法を再確認 [P.24～P.25] ☒ 避難する際の持ち物や自宅の備蓄を確認 日常からできる備蓄は区HPを参照 ☒ 土のうを準備 土のうステーションの設置場所は区HPを参照 ☒ 家の周りを点検 飛ばされやすいものは屋内に入れるか、しっかり固定 ☒ 最寄りの避難所を確認 土のうステーション	防災用品等の あっせんをしています 区では、災害発生後の生活に 備えた保存用食料・飲料水等の 防災用品をあっ せんしています。詳細 は区HPをご覧 ください。 防災用品等 のあっせん は区HPを ご覧ください。		高齢者等避難 (警戒レベル3) が発令されたら… ☒ 避難に時間を要する方(高齢者や障害 のある方など)は早めに避難 ☒ 上記以外の方は非常持ち出し品の準備 を本格的に開始
	上記のほかに、事前準備が必要なことを整理しておきましょう。 (例) 近所に住む祖父母に連絡を入れておく、食料備蓄品の○○を買い足しておく 等	(誰が) は、 (浸水する可能性が低い場所) に避難する		避難指示(警戒レベル4) が発令されたら… ☒ 全ての方は、直ちに浸水想定以上の場所 (浸水想定より高い最寄りの建物・自宅の 居室、移動が可能であれば避難所)に避難 緊急安全確保(警戒レベル5)の 発令を待ってはいけません！ 自宅(その他())付近の に避難する 事前に水害時避難所一覧[P.23]を確認！

台風の通過後も注意！

河川の上流で降った雨が時間差で下流に流れ、
氾濫を引き起こす可能性があるため、



**雨がやんだ後や台風の通過後も、
河川が氾濫する危険があります！**

令和元年東日本台風(台風第19号)のときは…

台風が最接近したのは当日の夜9時でしたが、
荒川が最高水位に達したのは翌日の朝10時でした。

“つながる防災”で、 いのちと地域を守る！

大規模な風水害等が発生した際は、区や消防、警察などの行政・防災関係機関による救助・支援活動に時間がかかる可能性があります。そのため、自分の避難に影響が出ない範囲で、**地域ぐるみで助け合う「共助」**の考え方がとても大切です。

災害発生時も、周囲と協力し合う事で、誰もが安心して避難ができます。普段から、近隣の方々との“つながり”を意識し、災害に強い地域づくりをめざしましょう。

